

青森県民医連 第57回定期総会開催

5月12日(日)、浪岡中央公民館で青森県民医連第57回定期総会を開催しました。2018年以来、6年振りの通常規模で開催され、代議員全員から発言通告用紙が提出され、総会、分散会とともに活発な議論がされました。情勢の特徴を捉え、たたかいの展望と情勢を切り開いていくために何が必要なのかを議論し、自分たちの役割をさらに明らかにしていくことと、前総会から2年間の活動を振り返り、到達点と課題を明らかにし、今後2年間の活動方針を決める目的が定期総会にはあります。

田代実会長のあいさつで総会が始まり、来賓のあいさつをいただき、祝電・メッセージが紹介された後、宮本達也事務局長より運動方針案の提案がされました。運動方針、決算・予算、役員体制が満場一致で可決され、特別決議・総会スローガンは拍手で採択されました。



宮本事務局長ははじめに、「新型コロナウイルス感染症の拡大により、大変な不安とストレスを抱えながら、励まし合って患者や利用者、組合員、そして職員を守るために奮闘してきました。その中で、医療・介護の質の向上や多職種協働など機能発揮と相互連帯が大きく前進しました。コロナ禍での活動をしっかりと教訓化し、引き続き共同組織や地域住民とのつながりを絶やさず、地域での役割を常に確認し続けながら、この難局を乗り越えてゆきましょう。長引くコロナ禍と物価高騰により生活困窮が広がる中、後期高齢者医療費窓口負担の2倍化のみならず、後期高齢者医療の保険料引き上げ、公的年金切り下げ、生活扶助基準据え置きなど、年金・医療・介護の大改悪など社会保障は解体されつつあります。『安全保障関連3文書』は、憲法9条のもとで認められない『敵基地攻撃能力(反撃能力)』を持ち、国の決まりとしてきた『専守防衛』を逸脱します。核兵器の廃絶、軍事費の大幅な増額反対、辺野古新基地建設反対など、全国の幅広い市民と連帯して民意を突き付ける運動を大きく広げていく必要があります。能登半島地震は最大震度7を記録し、多くの死者・重軽傷者とあわせて災害関連死も確認されています。家屋の全半壊などで避難を余儀なくされている方々も大勢います。長丁場を見据えた支援が必要であり、物心両面での支援を継続し、支え合って困難を乗り越えなければなりません。」と解説し、情勢の特徴と青森民医連の立場、第56期の活動の到達点と課題があきらかにし、そのうえで、第57期の活動方針を提起しました。

“ 総会スローガン ”

平和的生存権・人間の尊厳を守る立場で、ケアの倫理を学び、「非戦・人権・くらし」を高く掲げて、平和で公正な社会の実現に向け、共同組織とともに大きく前進しよう

絶対的医師不足とその先にあるいのちの危機と医療崩壊を防ぎ、地域と職員を守るために、医師の増員と働き方の見直しに向けた大運動を展開しよう

今こそ、事業を存続するための「たたかいで対応」を優先課題の一つと位置づけ、「全職員参加の経営」の強みも生かし、役職員一丸となって全力で経営改善に取り組もう

青森民医連結成70年に向けて、民医連を継承し発展させていくための事業や職員育成など、県連の未来を展望する第4次中長期計画の議論と策定をすすめよう

第55回県連医師総会

5月25日(土)午後、弘前プラザホテルを会場にハイブリッド開催しました。会場には医師32名含め57名、オンラインで医師10名含め31名、事前動画で医師3名、合計91名が参加しました。

第1部では、磯島先生の開会挨拶の後、3年目医師から近況報告、2年目医師から研修報告、県連外研修中の医師から研修報告をいただき、さらに新入医師紹介として新卒医師4名から会場で、既卒医師2名と弘大からのローター医師から事前録画で挨拶していただきました。前半最後はこの間の活動報告として、①医師増員署名の取り組みを伊藤医師から、②県連医師部発足の報告と調整給の考え方の提案を相馬医師からいただきました。

第2部では、本総会のメインテーマである「後継者の確保と養成をすすめるために～未来の担い手を自分たちでつかもう！～」に沿って、外科グループの展望(境剛志医師)、シンポジウム、SGDと発表を行いました。シンポジストは石田晋吾医師・高橋夏生医師・木村宗一郎医師・境剛志医師で、それぞれの立場や経験から悩みも含めて報告していただきました。オンライン参加者はシンポジウムで終了とし、SGD以降は会場参加者で進めました。SGDではSWOTシートで強みと弱みを出し合い、今後の取り組みについて考えていただきました。出された意見



について今後医師委員会で振り返り活かしていきます。感想文では「去年のようなフリートークの方が話しやすい」「たくさんの医師と交流できて有意義だった」「普段なかなか聴けない本音や思いをきけて良い」などいただきました。

最後に、任務を交替する医師委員長と医師担当次長から挨拶、6月から全日本民医連理事として出向する篠原次長の壮行会を行い、田代県連会長の閉会挨拶で総会終了、その後昨年できなかった交流会で親睦を深めました。

(社会福祉法人虹 事務局次長 佐藤真人)

2024
年度

7法人重要総会

津軽保健生協

[第99回通常総代会]

今年度の通常総代会は改選期ということもあり、全5議案が提案され、延べ9名の総代より発言が出されました。活発な質疑の下、すべての議案が満場一致で採決されました。

その後開催した第1回理事会において選任された伊藤真弘理事長よりあいさつと新任理事の紹介、退任される理事の紹介がありました。また、終盤には今年度入職した研修医4名の紹介とあいさつがあり、総代より大きな拍手で迎えられました。総代会は終了予定時刻通り、滞りなく終了することができました。



(津軽保健生活協同組合 生協本部 総務部次長 古村律子)

青森保健生協

[2024年度 通常総代会]

今年度の通常総代会は、「誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくりへの挑戦～青森保健生協を多くの人に知つてもらい、多様な参加で組合員が主人公の事業と運動を創造しよう～」をテーマに6月21日(金)開催しました。第1号議案から第5号議案まで報告・提案され、活発な質疑討論の後、第1号議案から第5号議案まですべての議案が採決され、生協6課題の支部表彰や新入職員の紹介などが行われ、滞りなく総代会を終了することができました。(青森保健生活協同組合 総務部長 坂野友昭)



八戸医療生協

[2024年度 通常総代会]

【～共同の力で、いのち輝く社会をつくる～】をスローガンに人数制限なく開催されました。

支部の活動や診療所の『かかりやすい診療所を目指して』の取り組みや6月17日にリニューアルした生協通所リハビリテーションの説明がありました。全ての議案が満場一致で採択されました。新役員の体制の報告などが行われ滞りなく終了いたしました。(八戸医療生活協同組合 生協看護小規模多機能ホーム虹の家 所長 澤内絹子)



株式会社ファルマ [株式会社ファルマ第37回通常株主総会] ~やりがい・働きがいのある会社づくりを目指して~

5月27日(月) ファルマ本社会議室で開催され、第1号議案から第7号議案まで全会一致で承認されました。2023年度経営では新型コロナウイルス等の感染が相次ぎ職場体制が厳しい中での事業活動となりましたが、職員の奮闘により必要利益の確保に繋がったことが特徴です。一方で2024年度予算は毎年薬価改定とファルマ前薬局の基本料減算により大変厳しい予算となりました。引き続き処方箋獲得と技術料を追求しつつ経費節減を進める基本方針として確認しています。また、今回は役員改選があり、長年に渡り代表取締役を務められた石川隆之前社長が退任となり、新たな代表取締役に崎野修が就任しました。同じく新役員として工藤敏子取

締役が就任し、相馬渉取締役を含めて新たな執行部体制で臨むことが承認されました。薬局経営は厳しい情勢が続いているが、職員の満足度を上げてやりがい・働きがいを大切にする会社組織を目指すことを方針に掲げました。最後に、いまの政治を変えない限り経営が良くなることはないため、民医連に結集して必要な診療報酬を勝ち取るたたかいを決意して提起総会は閉会となりました。
(株式会社ファルマ 代表取締役 崎野修)



一般社団法人あおもり健康企画 [2024年度 定時社員総会] 新体制で厳しい情勢を乗り越えよう

5月24日(金)、本部会議室にて第9期定時社員総会が開催されました。

西村美和理事長より、「前期は開設以来初の赤字となりましたが、2023年度は全役員の奮闘により黒字で終えることができました。また薬剤師の中途退職が相次ぎ改めて人材確保と育成に、今まで以上に力を入れる必要があります。」と挨拶がされ開会しました。

役員改選期に伴い新役員体制の提案や退任役員の挨拶

が行われ、厳しい情勢を新体制で乗り越えていくことを確認し、提案された議案は全て満場一致で承認され総会は満席なく終了しました。

また創業30周年の節目となる2024年度は記念講演やレセプション、記念誌発刊も企画しています。記念事業を成功させ弾みをつける年度となるよう努力していきます。

(一般社団法人あおもり健康企画 専務理事 成田卓弥)

社会福祉法人・花 [令和6年度 第1回評議員会]



6月22日(土)
令和6年度第1回
評議員会が日中
サービス支援型共
同生活事業所「花
の郷」2階多目的
室で開催されました。

障害福祉サービス事業収益では予算未達成となりましたが、事業収支では必要利益を確保し2期連続の黒字

決算で終了することができました。

参加された評議員からは、物価高騰や人材不足等で今後も厳しい経営状況が想定されるが「花」としての期待と役割は、地域住民との連携をし、利用者等のサービス需要が高まっている中で今後も邁進してもらいたい等の意見がありました。

引き続き緊張感と使命感をもって事業運営に取り組み、一層認識される法人として進展して行けるよう努力していきます。
(社会福祉法人・花 統括長 鈴木哲也)

社会福祉法人・虹 [2024年度 社会福祉法人虹職員総会]

6月1日(土)午後、はまなす会館にて2024年度社会福祉法人虹職員総会を開催し、全体で34名が参加しました。県連から連帯の挨拶をいただいた後、2005年の法人設立以来初めて作成した中期事業計画の報告、各事業所からの総括方針、新入職員紹介、永年勤続表彰、特別報告など行いました。法人はとりわけコロナ禍以降厳しい経営状況が続き、2023年度は最重点課題として経営改善に取り組みました。2022年12月より経営改善プロジェクトを発足し、2023年度全ての事業所で前年度比の実績を上回ることができ、事業所報告でその活動

内容と、さら
なる向上を目
指す2024年
度方針を報告
しあい、その
後全体討論で



更に深め合いました。今年度も感染症対策のため参加者数を制限しましたが、次回は制限を設けず全職員を対象に開催する予定です。

(社会福祉法人虹 事務局次長 佐藤真人)

北海道～青森県引き継ぎ集会



6月2日(日)原水爆禁止国民平和大行進の青森県引継集会が青森市平和公園で他団体合わせて160名の参加で行われました。

社会福祉法人虹からも6名が集まり、合唱歌声から青森市内平和行進まで楽ししく参加しました。合唱歌声では、当法人の西脇翼理事長が合唱団として披露し、市内平和行進では社会福祉法人虹オリジナルの手製うちわで盛り上げました。

平和行進とは1958年に一人の青年が原水爆禁止を訴えて広島から東京に向けて歩き出したのが始まりです。当時、日を経るごとにいっしょに歩く人が増え、東京到着時には数万人規模になり、のべ参加者は100万人にもなったといわれています。

以来、毎年平和行進がおこなわれるようになり、全国各地のコースも増えました。核兵器の廃絶と平和を求めて歩く行動は、誰もが参加できる国内最大の反核平和運動として受け継がれてきました。今年で67回目となる原水爆禁止国民平和大行進。核兵器の廃絶をめざし、全国のタスキをつなげていきましょう。

(社会福祉法人虹 ショートステイ虹の郷 事務長 外甚清仁)

原水爆禁止
国民大行進

2024

太平洋コース（青森～野辺地） 8月の世界大会参加予定者も行進

6月5日(水)、涼しい風が吹く中、青森保健生協、健康企画の職員で平和行進に参加しました。

8月開催の原水爆禁止世界大会の参加予定者も行進に参加し、平和への思いを訴えながら浅虫～野辺地の太平洋コースを行進しました。

県教育会館前で出発式を行った後、浅虫、平内町、六ヶ所村、横浜町、野辺地町で行進を行いました。その内六ヶ所村では戸田衛村長と、横浜町では石橋勝大町長と懇談を行うことができました。六ヶ所村村長は「皆さんの平和への思い、村政を預かるものとしてしっかり受け止めさせていただきます」とおっしゃり、原水爆禁止世界大会の参加予定者と固く握手を交わしました。



横浜町の行進は陸奥横浜駅からスタートしました。横浜町議会の沖津正博議員も行進に参加して頂き、「行進を始める陸奥横浜駅は戦時中から存在していたため、出兵する男性たちが戦地に向かった場所でもある」と横浜町の戦争に関わる歴史をご紹介頂きました。

核兵器のない平和な世界を実現していくためには、日本政府への核兵器禁止条約への批准を求め、より多くの人々にも核廃絶と平和について考えてもらわなければなりません。青森県内の被爆者は現在35名となりました。今後は被爆者だけでなく、私たち医療生協の職員も核兵器廃絶と平和を求める声をより大きく上げていかなければいけないと改めて感じることができました。

(協立クリニック 診療サービス課 川村耕平)



日本海コース（浪岡～弘前） 平和行進に参加して

6月6日(木)、「2024年原水爆禁止国民平和大行進」に参加しました。この行進は、北海道を出発し青森、秋田と横断幕を引き継ぎ町の中を行進し東京まで届ける行進となります。私は弘前を出発し1日行進で矢立峠へ向かい秋田県に引き継ぐコースに参加しました。

当日は、津軽保健生協の組合員さんやコープ共済の方など、たくさんの方々と一緒に行進しました。出発地点である弘前市役所の前庭にて出発式を行ってから行進が始まり、松森町ふれあい広場へ、大鷲町若松会館から大鷲警察署前へ、碇ヶ関古懸のバス停から道の駅いかりが



せきへ、途中は車で移動しながら各地へ向かいました。最後は、道の駅やたて峠の駐車場を行進し、秋田県の方へと引継ぎ式が行われました。

出発時は天気がよく暑くなりそうでしたが、どんどん曇って涼しくなりとても歩きやすい気候でした。約80名での町の中の行進ということもあり、車の中や歩道を歩いている方などが手を振ってくれました。行進をすることで「何を伝えたいのか」と見てもらえることでアピールすることができます。まずは知ってもらうことのきっかけになってくれたらと思いました。 (ファルマ弘前薬局 乗田沙緒莉)



太平洋コース（七戸～八戸） 初めて国民平和大行進に参加

6月6日(木) 八戸市内で国民平和大行進が開催

広島と長崎に原爆が投下されてから今年で79年を迎えようとしています。核兵器が人類と共存できない「反人間的兵器」であることを世界に向かって訴え続けてきた被爆者の運動は2021年、ついに核兵器禁止条約の発効を実現させました。

しかし、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約を批准(同意)していない事にはとても違和感を覚えます。被爆国であるならば、日本が先頭に立ち、核兵器禁止条約を批准すべきであると思います。

原爆被害者の方々の平均年齢が80歳代前半から半ばと高齢であり、年々当時の状況を語り継ぐ方が少なくなっています。しかし、日本や世界には反原水爆の活動・取り組みをされている方々・団体が沢山います。

今回はじめて国民平和大行進に参加し、あらためて運動の継承が大切であると感じました。悲しい出来事を風化させないように、今後も核を廃止していく行動や運動を続けていきたいと思いました。



(八戸生協診療所 通所・訪問リハビリテーション 久慈道春菜)

マイナンバー保険証にかかる取り組みについて 健康保険証廃止の中止を求める

マイナ保険証は、未だ、情報の誤登録やひも付けの誤りなどトラブルが多発、散見しており、医療機関で保険資格の確認にマイナ保険証が使用された比率は毎月減少し続け、昨年12月現在、全体の5%を切っているあります。岸田政権は保険診療を混乱させた反省もないまま、今年12月2日をもつて現在の医療保険証を廃止することを明言しています。政府は、保険証廃止後はマイナ保険証をもたない全員に資格確認書を交付するとしていますが、そもそも、現行の保険証を存続させれば不要です。今回、県連社保委員会にて健康保険証の廃止の中止を求める取り組みについて、①社保委員学習会・②署名活動・③アンケートの取り組み・④記者発表の4点を柱に行うことになりました。学習会は、中央社会保障推進協議会事務局次長の上所聰子氏を講師にオンラインにて行いました。改めて、健康保険証が廃止となれば、マイナンバーカードをもたない人は公的保険診療から遠ざかれる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。医療機関や保険薬局の受付窓口など、現場が混乱することも目に見えている状況を学び、発信していく学習となりました。

また、請願署名「現行の健康保険証を残してください」、県連全体で、まず1万筆達成を目指し、アンケートに取り組んでいきます。今後、集まった署名、アンケート結果をもとに県庁での記者発表を準備していきます。

(県連青森事務所 事務局次長 對馬康文)

全日本民医連新入医師オリエンテーション

4/12開催・東京

4月12日(金)に東京で開催された、全日本民医連新入医師オリエンテーションに健生病院1年目研修医4人と研修医室三上智子さんが参加しました。普段見慣れない高いビルがいくつもそびえ立つ東京の街並み



ワールドカフェの様子

に圧倒されつつ、緊張と期待を持ち合わせて会場入りすると、全国から招集された同じ境遇の新入医師総勢171名がそこに集結していました。8人ずつのグループで着席し、午前は講演を聴き、午後はワールドカフェを行いました。講演は医師増員についての講演や群星沖縄臨床研修センター長の徳田安春先生による記念講演がありました。徳田先生の講演は戦争や核兵器、環境問題、食糧問題など深刻な社会問題についての講演であり、医師として、また、社

会人としてどのように向き合っていくべきかを考えさせられる内容でした。午後のワールドカフェでは同じスタート地点に立つ全国からの1年目研修医たちと、「こんな研修をしたい」というテーマで話し合いました。それぞれが自分の目標を掲げ合い、研修に対するモチベーションを上げる大変良い機会になったと思います。こうして非常に有意義な1日が幕を閉じました。1年目研修医一同初心を忘れず頑張ります。

(健生病院 田中友浩)



暮らしに直結する政治を意識した姿勢は、民医連ならではだと改めて認識しました。また、社会的困難を抱える患者さんも安心して医療を受けられるよう、多職種連携での役割をしっかりと果たせる薬剤師になりたいと思いました。

健康の社会的決定要因(SDH)の講義では、コンプライアンス不良の患者さんに対して、生活背景における問題点がないか、目を向ける重要性を学びました。視野を広く持ち、柔軟に対応できる力を身につけていきたいです。

先輩薬剤師の方々からは、業務の中で急かされる場面でも、医療安全に努める大切さを学びました。不安な点はしつかり確認してから進めるようにしていこうと思いました。

今年の研修会は対面実施となり、全国の同期達と実際に会って交流を深められ、とても充実した2日間でした。また、目指す薬剤師像のイメージが広がったので、日々の業務で意識しながら成長していくたいと思います。

(大野あけぼの薬局
いすもり
守花帆)

2024年5月18日(土)
19日(日)、東京都で実施された新人研修会に参加しました。

全国から同期が集まり、20

3年目の先輩薬剤師とともに講義を聞いての意見交換を行いました。まず民医連について講義をしていただきました。

人々の

暮らしに直結する政治を意識し

た姿勢は、民医連ならではだと改めて認識しました。また、社

会的困難を抱える患者さんも安

心して医療を受けられるよう、

多職種連携での役割をしっかりと果たせる薬剤師になりたいと思いました。

健康の社会的決定要因(SDH)の講義では、コンプライアンス不良の患者さんに対して、生活背景における問題点がないか、目を向ける重要性を学びました。視野を広く持ち、柔軟に対応できる力を身につけていきたいです。

先輩薬剤師の方々からは、業務の中で急かされる場面でも、医療安全に努める大切さを学びました。不安な点はしつかり確認してから進めるようにしていこうと思いました。

今年の研修会は対面実施となり、全国の同期達と実際に会って交流を深められ、とても充実した2日間でした。また、目指す薬剤師像のイメージが広がったので、日々の業務で意識しながら成長していくたいと思います。

(大野あけぼの薬局
いすもり
守花帆)

初年度研修会について

全日本民医連新卒薬剤師



青森民医連 2024年度医系合同奨学生会議

6月2日(日)に弘前市の星と森のロマントピアで、2024年度医系合同奨学生会議が開催されました。今年は奨学生19名が参加し、田代実県連会長(健生病院)から「青森民医連奨学生のみなさんへ」というテーマで講演していただきました。

田代先生は、青森民医連2,900人の職員を代表して、みなさんを心から歓迎しますと伝え、①民医連とはどういう組織であるか、②民医連綱領について、③青森民医連の奨学生に込めている「私たちの思い」について、の3つのテーマで奨学生に語りかけ、また、NHKクローズアップ現代+「病院 我慢します」いま広がる“メディカル・プア”的録画を元に学習をしました。そして、「みなさん一人ひとりが、自分のやりがいも考えて、人生の積極的な選択として、青森民医連に職員として参加してきてくれることを心から期待しています。」と話してくださいました。

その後のSGDでは講演の感想交流、自分が考える民医連、将来どんな医療者になりたいかを班ごとに職員も入って話し合いました。参加者からは、「民医連は一人ひとりの人権を重んじて、患者に寄り添う心がけがあると知りました。」「無料低額診療についてこの講演で初めて知り、メディカルプアに陥る人へ寄り添う工夫がなされており、綱領に書かれている『営利を目的とせず』に相応しいと気づきました。」といった感想が寄せられました。

終わった後は、バーベキューで舌鼓。医学生、薬学生、看護学生の交流を深め合いました。

(あけぼの薬局妙見店 事務長 立花典明)



今期のジャンボリー小委員会の活動について

青年委員会の小委員会であるジャンボリー委員会をご紹介します。

今回、全国ジャンボリーの実行委員会に、青森県連より事務局と実行委員に2名が選出され、私も全国事務局として参加します。



これまで、新型コロナ感染症により、全国ジャンボリーの開催形式も変更を余儀なくされ、委員会活動も自粛が続いてきました。オンラインでの会議や交流で物足りなさを感じていた中で、昨年度の全国ジャンボリーは、県連での集合開催をし、37名の青年職員が集い、大いに盛り上がることができました。

次回の全国ジャンボリーはこれ

からの実行委員会で立案していきますが、青年職員が生き生きと交流できる場にしたいと思っています。

ジャンボリー小委員会でも、多くの青年職員を全国へ送り出せるよう財政活動に取り組んでいきます。7月は小山内冷菓店のアイス販売・8月は猿キミ販売の財政活動を企画し、その他にも、出来る財政活動を委員会で検討しています。全国ジャンボリーへ多くの青年職員を送り出せるよう、皆様のご協力が必要です。今後の民医連を担う青年職員の活動にご理解・ご協力をお願いします。私たちも多くの青年職員が集い、交流と学びを深めることができる場を企画していきたいと思います。

(社会福祉法人虹 ショートステイ虹の郷 対馬周也)

今期も応援よろしく
お願いいたします!!



左:成田実行委員(あおもり協立病院)
右:対馬事務局員(ショートステイ虹の郷)

県連事務局人事往来

県連事務局長5年、医師担当次長2年、兼務1年があつて6年間の県連任務を終え社会福祉法人虹に帰任しました。多くの方に支えていただきましたが、ほとんどの方に挨拶できておりませんのでこの場でお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

帰任 佐藤 真人

(弘前事務所⇒社会福祉虹) 6/1付



県連の役割と意義について考える貴重な時間でした。職員の皆様の熱い思いが青森民医連を前に進めていると感じます。県連で得た多くの学びを今後の民医連人生に活かしていきたいと思います。4年間お世話になりました。

帰任 下館 大史 (青森事務所
⇒八戸医療生協) 6/1付



2018年より弘前事務所で4年(医学生担当、健生病院研修医室)、青森事務所で2年(薬剤師/薬学生担当・機関紙あおもり民医連編集)任務を果たしてきました。事務局員としての役割は一定程度果たせたと思っていますが、コロナ禍での対応で大変な期間もあり、途中リタイアしたこともありましたが、みなさまの支えによって成し遂げることができました。6年間、大変お世話になりました。

帰任 立花 典明

(青森事務所

⇒あおもり健康企画) 7/1付



平和と人権をめぐる情勢も、病院経営をめぐる情勢も嘗てない困難な時代を迎えています。共に働く仲間たち、応援くださる地域の方々と手を携えながら、前を向き乗り越えていきたい所存です。よろしくお願ひします。

着任 柳谷 圭一 (あおもり健康企画
⇒弘前事務所) 6/1付



新卒で入社し8年目になりましたが初めての異動です。今までの仕事内容とは異なる部分が多く不安ですが、新たな環境での経験を通して成長し周りに還元できればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任 端村 由貴人 (あおもり健康企画
⇒青森事務所) 6/1付



みやこし 宮腰 和実
(津軽保健生協⇒弘前事務所) 5/13付

いつでも元気

2024年3月号 380円

好評発売中

ちどり助け愛たい 岡山

署名を集めた少年

けんこう教室 ジェンダーと健康

詩でつづる平和と人権

まちのチカラ 東京都八丈島

食と健康 夏野菜で元気



発行=青保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657



いるとキーボードの上で寝転がって邪魔をしてきたり、遊びたい時には「にゃーにゃー」鳴いて私をオモチャの前まで誘導します。モフモフとしたやわらかい毛とぷにぷにの肉球、そしてわが家に迎えてから一日も遅くがない可愛さに日々癒されています。ペットというより家族の一員で、いつまでも一緒に元気で暮らしていきたいと願います。

そんな私は、猫が好きすぎて今年「ねこ検定」を受験して、合格することができました。知っているつもりでも知らないことが多く、愛猫のためにも自分のためにもなったと感じています。毎年3月に検定試験がありますので、興味がある方はぜひ受験してみてくださいね。

(大野あけぼの薬局 阿部恵)

わたしは様々なペットを飼ってきましたが、今は2匹の猫と一緒に暮らしています。

2匹とも仔猫のときから飼っており現在は11歳になりますが、まだまだ元気いっぱいです。私がパソコンをして



❤ name
リンくん
アメリカンショートヘア
(シルバータビー)
オス
❤ age
11歳

❤ name
レオくん
スコティッシュフォールド
(レッドタビー)
オス
❤ age
11歳



私の三つ星★★★

オススメ 美味しんぼう

中部クリニックから徒歩1分にある「美味しんぼう」を紹介します。営業時間は昼営業のみで11時～16時半、定休日は水曜日です。

お店は、店主の方が一人で切り盛りされていて、店に入ると元気な挨拶で出迎えてくれます。店内はカウンター席とテーブル席があり、麺類はサイズが小・中・大と選べるので、女性の方一人でも気軽にに入る雰囲気もおすすめです。

ずっと中央地域でお店を開いているそうで、前の店舗で10年、今の店舗になってから23年地域の人から愛されているラーメン屋さんです。お昼になると地域の人はもちろん、近くで働くサラリーマンの方などで満席になり、入れないこともあるくらいの賑わいぶりです。

夏は冷やし中華、冬はタンメンが人気でおすすめメニューだそうです。タンメンは具沢山でアツアツ、麺は細麺でとても食べやすく美味しいです。中部クリニックにお立ち寄りの際は、ぜひ食べに行ってみてください。

(中部クリニック職員一同)



2024年7月 第57期第3回理事会報告

- >> 1. 会長あいさつ
- >> 2. 全日本民医連理事会報告関係
- >> 3. 人事
- >> 4. 決裁・承認事項
 - (1) 奨学生関係
 - (2) 県連・地協・全日本関係
 - ①第46期全日本民医連 部員・委員の委嘱要請
 - ②第46期北海道東北地協 各種委員会・部門代表者
 - ③第57期青森民医連 委員会体制
 - ④第17回共同組織活動交流集会
 - (3) 各種委員会から
- >> 5. 協議事項
 - (1) 原水禁2024世界大会への代表派遣
- >> 6. 医師・医学生関連
- >> 7. 報告事項
 - (1) 全日本民医連通達・声明、地協関係
 - (2) 地協
 - (3) 県連・共闘関係
- >> 8. 各法人・事業所から

